

特集

東日本大震災から 3 年 福島からの報告

【座談会】被災から 3 年目を迎える福島の保健活動

避難・移転を経験した地域の保健師から

大場エミ／安倍敬子／吉田喜美江／山田祐子

県の保健師の立場から 花積めぐみ

福島県民健康状況の変化 安村誠司／堀越直子

原子力災害による福島県外避難者の状況の変化

神田秀幸

被災地の保健活動における組織体制のあり方への提言

宮崎美砂子

被災地の保健師への支援経験から 重村淳

特別記事

野宿生活の人々との関わりから

白井裕子／佐々木裕子／井上清美／稲垣絹代

連載

もう一度学ぶ「状況設定問題」 山下留理子

ナカイト発 保健師へのつづやき 中板育美

新しい健康日本 21 の取り組み事例 長谷川香澄／藤原佳典

姫井先生と考える 健康に生き抜くためのヒント 姫井昭男

「困りごと」から考える

地域づくり型保健活動の考え方と進め方 岩永俊博

ニュースウォーク 白井正夫

編集後記

●6～7月にブラジルで開催されるサッカーW杯観戦の渡航予定者に対し、厚生労働省は黄熱予防接種の呼びかけを開始した。今号の特集では海外渡航者の子弟が渡航先の学校に入る場合、予防接種が条件とされている地域のことが紹介された。感染症1つとっても日本は島国なのだと思う。

(杉之尾)

●インフルエンザを始めとしたあらゆる感染症が流行する季節です。風邪をこじらせている間は、社内外問わず箱ティッシュがお供でした。●そうならないための厚生労働省インフルエンザ予防啓発キャラクターが「マメゾウくん」と「アズキちゃん」です。2粒の豆がマスク着用と手洗いを呼びかけます。各地の自治体キャラクターとのコラボも実現。

(平田)

●本号93頁で中島一敏氏が言及されていた任意接種ワクチンの定期化ですが、昨年末に動きがありました。水痘ワクチン(1～2歳)と、肺炎球菌ワクチン(65歳以上)が2014年秋から定期接種に加わる予定です。乳幼児の予防接種スケジュールは過密なので、さらにきめ細かい情報提供が必要になりますね。

(伊藤)

保健師ジャーナル 第70巻2号 2014年2月10日発行(毎月1回10日発行)

発行：株式会社医学書院 代表者 金原優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd, 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2014, Printed in Japan

1部定価本体1,400円＋税

2014年年間購読料(税込、送料弊社負担)：冊子版15,280円 冊子＋電子版/個人18,280円 冊子＋電子版/共有20,600円

電子版/個人15,280円 電子版/共有17,600円

※上記は2014年3月末までにご注文いただいた場合の年間購読料です(2014年3月ご購入開始分まで適用)。

販売部：☎(03)3817-5659 保健師ジャーナル編集室：☎(03)3817-5774 ✉hokenshi@igaku-shoin.co.jp 担当：平田／杉之尾／伊藤
Twitter <http://www.twitter.com/hokenshiJ> Facebook <http://www.facebook.com/hokenshiJ>

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【COPY】(社)出版者著作権管理機構委託出版物

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(社)出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969, FAX03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の承諾を得てください。